
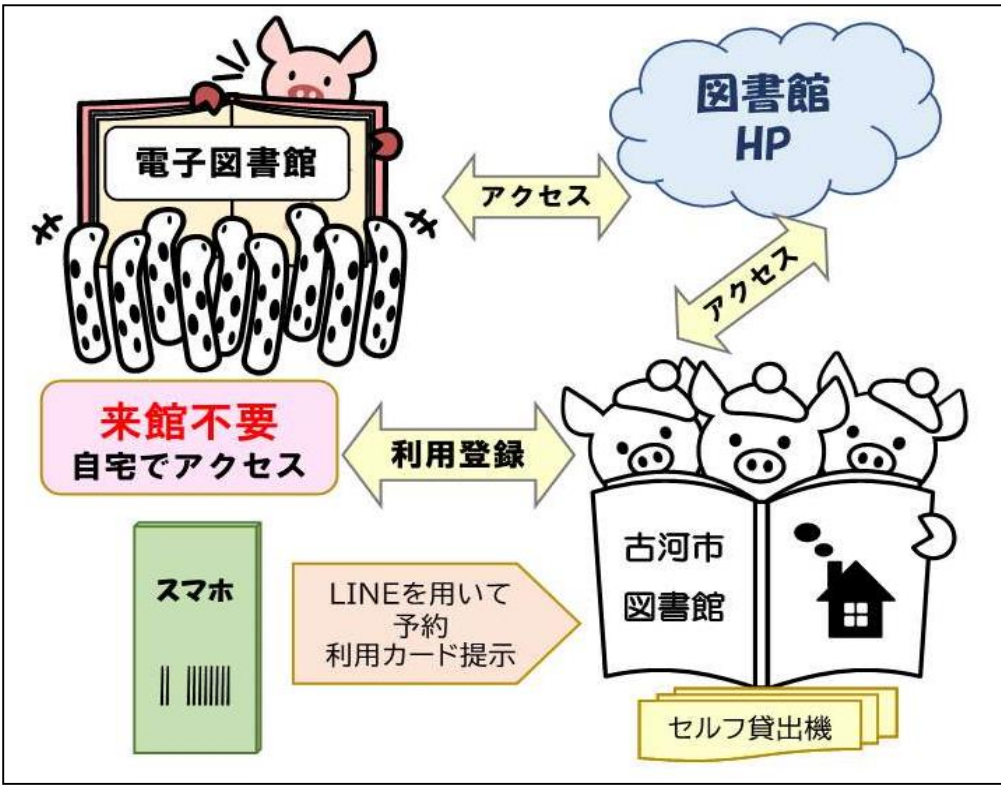


事業名称	スマート図書館の推進		
寄附目標額	16,402千円	古河市総合計画の位置付け	3 - 5 - 3
事業区分	デジタル技術で多様な主体と共に創るまち事業		
関連するSDGs			
			
現在抱えている課題	<p>古河市は市内に図書館が2館、公民館図書室が5室存在するが、地理的バランスが取れていない。例えば、三和図書館は市の東端、市街地から外れた場所にあり、唯一の公共交通である市のコミュニティバスは2時間おきにしか停車しない。利用者が足を運ぶことが困難なこと等が課題であり、図書館を身近なものとして利用してもらうためには、図書館資料(電子書籍)の充実を図りながら、継続的に電子図書館を運用するなどの必要がある。</p>		
プロジェクトの概要及びポイント	<p>令和7年度の電子図書館システムの導入により、古河市在住・在勤・在学の方であれば、24時間365日、いつでもどこでも図書館資料(電子書籍)を閲覧できるようになった。Webによる利用登録やホームページによる案内など、スマート図書館として利用者のニーズに合わせたサービスを提供し、かつ、電子書籍を充実することで、図書館の利便性を高めていく。</p>		
目指す将来像	<p>当事業の継続的な実施により、新たな利用者の掘り起こしや、デジタル化による高齢者や障がい者へのサービス(文字拡大・音声読み上げ機能等)を維持する。また、GIGAスクールで配備された児童の端末で電子図書館を利用し、子どもの読書活動の推進及び学校のICT環境の効果的活用を図っており、小中学生に利便性の高い読書環境を提供する。これら事業により、図書館サービスの満足度のさらなる向上を目指し、市民の読書活動が活発な地域の実現を図る。</p>		
事業担当課	三和図書館		